私立大学研究ブランディング事業
平成31（2019）年度の進捗状況

学校法人番号	401013	学校法人名	福岡学園		
大学名	福岡医療短期大学				
事業名	口腔機能向上でイキイキ長寿社会の実現　―話そう・食べよう・いつまでも―				
申請タイプ	タイプA	支援期間	3年	収容定員	320人
参画組織	・歯科衛生学科、保健福祉学科				
事業概要	口腔機能向上からの栄養改善、運動機能および社会資源創出に関する教育研究を基盤として、健康寿命の延伸につながる研究を推進する。これらの研究成果を、卒前・卒後教育における人材育成、地域住民主体のコミュニティ形成支援、および学術発表等の学会活動を通じて、ステークホルダーとの協働・評価・協力体制を構築し、地域社会に還元することによって、口から支える健康長寿社会の実現を推進するブランディング事業を展開する。				
①事業目的	本学の建学の精神である『歯科衛生学、保健福祉学に関する専門の学術を教授・研究し、教養と良識を備えた有能な歯科衛生士、介護福祉士を養成し、保健福祉に貢献すると共に、歯科衛生学、保健福祉学の進展に寄与する』を踏まえ、高等教育機関としての教育研究機能を最大限に活用し、歯科衛生学、保健福祉学を包含した口腔医学研究を推進する。加えて、ステークホルダーへの情報発信や、協働・評価・協力体制を強化し、社会資源としての地域人材育成により、口腔機能向上からの健康長寿社会の実現を事業目的とする。				
②31年度の実施目標及び実施計画	1）研究活動：口腔・栄養・運動機能・社会資源創出に関する4つの研究チームおよび9つの公募研究グループにおける研究活動の成果として学会発表数：8回以上、作成論文数1編以上をめざす。 2）ブランディング戦略（広報活動・地域活動等） （1）本事業専用ホームページを開設し、教員の研究プロフィールを掲載する。 （2）高校生・一般向けリーフレットを2,000部作製し配布する。 （3）新聞、高校生向け雑誌に本事業の記事をそれぞれ1回掲載する。 （4）高校訪問時に、本事業と口腔機能向上支援による健康寿命の延伸を啓発する。 （5）オープンキャンパスで受験志願者・保護者に口腔機能向上支援による健康寿命の延伸を啓発する。 （6）公開講座（専門職向け）で口腔機能向上支援による健康寿命延伸を啓発する。 （7）各ステークホルダー代表者で構成する事業推進協議会第1回を年度内に開催する。 （8）地域における活動（地域公開講座・地域交流カフェ・地域公開ゼミ）において本事業を広報する。 （9）企業・研究所訪問：共同研究や産学官連携研究を検討する。 （10）学会等における広報活動：関連する学会・研修会等に参加し広報活動を行う。				
③31年度の事業成果	1）研究活動：4つの研究チームおよび9つの公募研究グループにおける研究報告会を8月に開催した。令和2年3月の最終報告会についてはコロナウイルスの影響のため、事後報告書の提出とした。 2）ブランディング戦略（広報活動・地域活動等） （1）事業専用ホームページでの教員3名の研究活動プロフィールを掲載した。 （2）高校生・一般向けリーフレットを2,000部作製し、地域公開講座と交流カフェ等で約600部、学会等で約400部配布した。 （3）6月以降の高校訪問ならびに教員対象オープンキャンパス（7月4日）では、大学の将来ビジョンと本事業の紹介および「口腔機能向上による健康長寿」を、リーフレットを約100部配布し啓発した。 （4）5月,6月,7月,8月,9月,10月,11月,12月のオープンキャンパス参加者は約120名であった。 （5）令和元年度公開講座「口腔がんを考える」を9月29日に開催し、約111名が参加した。 （6）研究ブランディング事業推進協議会を令和2年3月12日開催予定であったが、コロナウイルスの影響のため中止。31年度事業報告書でもって報告の予定。 （7）令和元年12月15日　福岡歯科大学学会においてブランディング事業の3年間の総括として事業報告会を行った。 （8）関連する学会（日本口腔ケア学会、日本老年歯科医学会、日本歯科衛生学会、日本歯科衛生教育学会等）の学術大会および研修会に参加し、リーフレットを配布し広報活動を行った。				

④31年度の自己点検・評価及び外部評価の結果	（自己点検・評価） 1）研究活動：各研究チーム、および新たに9つの公募研究グループの報告会を8月に開催するなどさらにチーム相互の研究の周知が図られ、研究成果の統合およびブランディング活動がより活性化した。 2）ブランディング戦略：5月以降の高校訪問ならびに教員対象オープンキャンパス（7月）では、大学の将来ビジョンと本事業の紹介および「口腔機能向上による健康長寿」を、リーフレットを約1,00部配布し啓発した。リーフレットは、一般にも理解しやすいデザインや文章表現とするなど改善を行った。事業専用ホームページには31年度に実施したイベント情報を随時掲載するなど、広報活動に力を入れた。 　研究ブランディング事業推進協議会では平年度の事業内容を振り返るとともに、3年間の総括について報告する予定であったが、コロナウイルスの影響のため、開催は中止となったが、事業報告書を郵送する予定である。 　本研究の学術発表や論文投稿および福岡歯科大学学会におけるブランディング事業報告会が実施され、広報活動に寄与した。
	（外部評価） 平成31年度ブランディング事業の取り組み及び成果を報告するとともに、外部評価委員に意見を求める予定である。
⑤31年度の補助金の使用状況	事業に関する経費については、研究ブランディング事業実施委員会を開催し、予算金額を設定し、適切に管理した。 広報費：ブランディング事業ホームページの作成、リーフレットの作製と配布および学会等での広報活動を行い、学内外へ情報発信を行った。 研究費：各チームが事業計画に沿って適切な執行を行った。